

Chocolat 通信 2010.03 月号

今後の練習予定

3月11日 19:00 - 20:50

3月18日 19:00 - 20:50

3月25日 19:00 - 20:50



From 神尾先生

五月のせせらぎ、新都心男声の友情出演、来年The Artcomplexでのバレンタインコンサートと
ショコラにとっては今までにない程イベントが目白押しです。

他の合唱団でも言っていることですが、

まず最も大事な事は何を置いても「練習」です。そしてその練習で最も大事な事は
「全員が揃っている事」です。「自分一人くらいはいなくても…」という考えは大間違いです。

もしそう思う瞬間があったら「いや、私がないでどうする」と思い直して下さい。

これからの皆さんの行動力、そして団結力に期待します。

パートリーダーさんより

Soprano

バンクーバーのice danceをみて感動しました。
不覚にも涙が(年のせいかな -)
2人の姿が1つになっている。
その表現・集中・呼吸が
1つのかたまりになっている。
流れるように美しく、しかも楽しそうに。
ソプラノも9人の声が一つになるのに
何が出来るかを考えてみました。
今一度C.D.をきいて音の不安な箇所を
チェックしてくる。練習中はブレスの位置に
気をつけて思い切って声を出してみる。
どれか1つでも出来たら自分にごほうびを
- 合格のハートマークをつけましょう。(阿部)

Alto

2月はいつの日かの中の後半の歌と
花に寄せての4・5・6をやったが、
花に寄せてはやったことのある曲だったので
(勿論初めての人もいるが)音取りも早く、
曲想を掴むのも早くなって来ている気がする。
アルトは個人個人の声も良く
出るようになって来たので、大分パートとして
強くなって来た感がある。
この調子で他の人や他のパートの声を
よく聞いて、アルトの一つの声として、
深まっていったらと思う。
とにかく、毎週楽しみながら、
歌う事がアルトの目標ですがー(宮原)

Tenor

また新メンバーが加わり、
さらにパワーアップしています。
音取りが苦手で、総崩れになる時が
ありますので、予習復習を忘れないようにして
いきたいですね。
時折、雑な部分を先生に指摘されることが
ありますので、美しい音色を常に
心掛けていきたいです。(佐々木)

Bass

バスは、新戦力(酒井さんの)加入で、
ますます戦力がアップ!
アラビアの砂漠を放浪中の方、
海に近いところで新生活を始めた方等、
話題に関しては
ショコラの中で最もホットな存在です。
この春は、しっかり声を出して、
だんだんと「ショコラのバス」としてのまとまりを
つくっていくことを目指します。(石田)



佐々木団長の断腸の思い

「実力よりも活力」

5月30日(日)のせせらぎの演奏会、来年2月13日(日)の演奏会と日程が決まりました。よい演奏会にするために実行委員会を立ち上げてしっかりとした計画を立てていきたいと思います。団やパート毎に目標を掲げていきたいと思いますが、皆さんも自分なりの目標をたてて実行してみてください。

1年前を振り返ってみると、実力が少しずつ上がってきていることは皆さんも実感しているのではないのでしょうか。でも歩みを止めてしまうと逆戻りしてしまいます。

常に目標を持って歩いていきましょう。そして目標に向かう力の源は皆さんの活力です。

今のショコラは活力がみなぎっていると思います。

まずは活力、次に実力です。

教えてショコラ!

ふるさとの好きな食べ物(料理)

- 静岡・東京 編 -



「黒はんぺんとシラス丼」 牧野俊雄(静岡県)

私の故郷は静岡。

静岡は味の宝庫、懐かしい味には事欠きません。

静岡市では、今はメジャー?になりましたが「おでん」が小学生の頃の買い食いの定番でした。特に「黒はんぺん」に鯉節と青海苔を掛けて食べた味は、懐かしい!

コイン一枚でしたが、今は一桁上のコインでしょうね。

磐田市では、そばの漁港でシラスが上がり、生シラス丼、釜上げシラスがおいしかった。最近は相模湾の生シラスが手に入りますが、やはり港の味にはかないません。

浜松市では、意味深な「夜のお菓子/うなぎパイ」。

今では皆さんのお土産品の定番ですが、たまに帰るとメーカーの春華堂に妻と義姉(パイ会員なのです)が行き、会員価格で購入すると共に、割れた製品を自家用にさらに安価に買ってきます(笑)。

他にはマスクメロン(磐田)、鰻(浜松)、桜海老(原)、

みかん(三ヶ日)、マグロ(焼津)などが有ります。

一度静岡へ食べ歩きに来ませんか!!(静岡観光大使より)

「鯉のあらい」 石田実(東京都)

東京葛飾の下町育ちの私にとって、川魚料理は、「寅さん」と並んで身近な存在です。

「あらい」は「刺身」のこと。酢味噌をつけて頂きます。柴又の「川甚」「川千家」といった有名料亭も良いですが、私のいきつけは庶民的な「たなかや」。冷たくしシコシコした食感は絶品で、数ヶ月食べないと、「ああコイが食べたい」と、大変な「恋(鯉)わずらい」となります。

「恋に生きたい(鯉に行きたい)」あなた、是非ご一緒下さい。

「カツオのお茶漬け」 佐々木晋(東京都)

私は東京生まれですが、父は三重、母は秋田出身。

今回は父の方の料理(?)です。カツオの刺身(たたきでない方がよい)を2~3切をおろししょうがを

入れた醤油にちょっと漬けておき、熱いご飯の上に乗せて、さらに漬けておいた醤油をかけて、

熱いお茶(お湯でもよい)を身が白くなるようにかけて、熱いうちにいただく。カツオの刺身の生臭さにあきてきた頃に食べると特に美味しい。料理の嫌いなあなたでもすぐできます。

三重県の名物かどうかは定かではない。





「うなぎ」 近藤寿美江(東京都)

新宿が故郷の私が最近食べた歌舞伎町「うなぎ鉄」の串焼きは、見た目は多少グロイけれども、パリッと香ばしく日本酒との相性も良く美味しい一品でした。

「ボロ市とおでん」 金成素子(東京都)

私の母の実家は東京都世田谷区の世田谷線上町駅近くでした。こどもの頃よく母に連れられておばあちゃんに会いに行きました。その実家のほど近くにボロ市通りという所があり、毎年1月と12月の15,16日にボロ市が開かれていました。(今も続いています。)たくさんの露店が並び、人がたくさん来て、毎年楽しみでした。おばあちゃんの家にもたくさんの親戚が来てにぎわいました。その時おばあちゃんが作ってくれたのが、大きなおなべでぐつぐつにこんだ「おでん」でした。寒い時期にホカホカのコンニャクやちくわぶや卵は最高のごちそうでした。もう40年近くの年がたっているのに時々思い出します。



みずきの“ひとくち”ショコラ

「ショコラの3」

今月はスペースたくさん！

ショコラ団員の甘くて苦い今をつまみ食いしちゃうコラム、ひとくちショコラです

さて、これを書いている今日は雛祭りでした。

かといってお雛様を飾るわけでもなく、給食にひなあられが出るわけでもなく、社会人になると季節のイベントがただの平日として過ぎていくのが寂しいですね。こと3月に関しては、私は誕生月でもあるので、年に一度の誕生日がたとえ平日でも何か起こるんじゃないかと期待してしまいます。(なんのアピールでもないですよ?)

そこで突然ですが、今日はショコラにおける「3」の多様性について考察してみたいと思います。

いつも隣で歌う“ちるちる”こと三千浦(みちほ)ちゃんとの仲は、同じ3月生まれで親近感を抱いたのがはじまりでした。彼女は名前にも「三」が入るし(三女だからかな)、一番好きな数字だとも言っていました。加えて、先週見学にいらして早速入団頂いた本杉郁美さんも、ちるちると同じ年の3月生まれ。三人とも名前に「み」が入るし、不思議なつながりを感じます。今日が3月3日だけに、ショコラの三人官女を結成といったところでしょうか。

さらにショコラと「3」との関連性に注目していくと、見逃せない事実に行き当たります。なんとアルトの三師さんと佐々木三葉子さんにも「3」が…!

3だらけだ…!

3(み)ステリアス! 3(み)ラクル! 3(さん)ライズ!!?

ショコラ女性にまつわる「3」のお話。

さらに研究は続きます。



33(みみ)ではなく、もも。